

緑 GO GREEN でいこう

地球ひとつで生きる

6/7 「原発のない明日を!全国集会in大阪」に共同代表の尾形慶子、兵庫県本部の松本なみほが参加。



6/21 東京都立川市議選で運営委員の山本洋輔が緑の党公認で3期目当選。緑の仲間も応援し選挙を盛り上げた。



7/20 海の日に全国で原発汚染水海洋放出反対のアクションが呼びかけられ、東京都本部は街宣を行った。



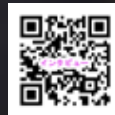
Interview



杉並から始まる 市民が主役の選挙と自治 「対話」を重んじる杉並モデル

2026年6月28日に投票が行われた東京都の杉並区長選挙で、「対話の区政」を掲げた現職の岸本さとこさんが10万6,487票を獲得し、2期目の当選を果たしました。一方、国会では十分な審議を経ずに与党が数の力で法案を押し切るなど、「数の論理」が横行しています。4年前、わずか187票差で誕生した岸本区政は今回、なぜ大きく支持を広げることができたのでしょうか。NPO法人アジア太平洋資料センター（PARC）共同代表として世界各国の市民社会とともに活動し、岸本区長の後援会（ソーシャルサトコズ）で事務局長を務める内田聖子さんにこれからの民主主義の「在るべき姿」について話を聞きました。

もっと詳しく
ロングインタビュー記事は
こちらから▶



インタビュー動画番組を
GREEN OPINIONSで
ご覧いただけます。

岸本聡子後援会事務局長 内田 聖子さん

1970年 大分県生まれ。1993年に慶應義塾大学文学部卒業後、出版社勤務などを経て、2001年からPARC事務局スタッフとなり、現在は同団体共同代表。著書に『日本の水道をどうする!?～民営化か公共の再生か～』（2019年 コモンズ刊）、『TPP・FTAと公共政策の変質 問われる国民主権、地方自治、公共サービス』（2017年 自治体研究社 共著）、『デジタル・デモクラシー：ビッグ・テックを包囲するグローバル市民社会』（2024年 地平社刊）など。2022年の杉並区長選挙に、当時ベルギー在住の岸本さとこさんに立候補を打診し、当選後の4年間とともに区政に取り組んできた。

187票差から大きな支持を得ての再選へ
勝因はどこにあったのか?!

岸本さとこさんが大差で再選を果たしました。
勝因は何だったと思いますか?

内田 最も大きいのは、4年間という時間です。2022年の勝利は「奇跡」と言われたようにわずか187票差。制度や予算の制約、議会での攻撃や混乱に直面しながらも、区議会議員や住民、全国の支援者に支えられ、丁寧に政策を進めてきました。物価高や雇用不安にも、正面から応えてきた。選挙のときだけではない日常の積み重ねが、今回の支持につながったと感じています。

みんなが主役の「お願いしない選挙」
選挙は続くよどこまでも

この4年間、選挙への向き合い方はどう変化しましたか?

内田 杉並では、2021年の吉田はるみさんの衆院選当選、翌年の岸本区政誕生、2023年の統一地方選での女性議員の増加という「3つのミラクル」がありました。その一方で、直近の衆院選では左派・リベラル勢力が大きく後退しました。それまで築いてきた基盤が崩れるのではないかとという危機感を抱きながら、今回の区長選に臨みました。

「対話の区政」で大切にしていることは何ですか?

内田 1つは「お願いしない選挙」。力を持つ人や組織に陳情して票を集めてもらい、見返りとしてその人たちの声を優先する。そういった利権やしごらみを介した「お願い」はしないということです。日本では、こうした関係が長らく政治を動かしてきました。もう1つは、「政策で選ぶ選挙」。「政策チラシなんて誰も読まない」と言われますが、それは政策を比較しなくても進む選挙文化を、政治の側が築いてきたからです。その意味で今回、杉並で4回の公開討論会が開催されました。現職は問われる立場ではありますが、ポジティブに捉えてすべて参加しました。丁寧に伝えれば、住民は聞いてくれる!! そう信じています。

「100」の間に「納得解」で、
古い政治との決別を促す

岸本区政の中心には「対話」があります。一方で、「時間とお金がかかる」「決断を先送りしているだけだ」という批判もありました。その辺りは、どう受け止めていますか?

内田 誰かの100点を押し通せば、別の誰かには0点になることがあります。そこで、私たちが大切にしているのは「納得解」。異なる立場の人たちそれぞれの事情を知り、譲れない点と変えられる点を確かめながら、「これなら進められる」という「解」です。そのために気

候市民会議では無作為抽出で参加を呼びかけ、公共施設の再編でも地域ごとに話し合いの場を設けてきました。それでも、すべての声を聞けたわけではありません。普段は政治の場に来ない人、参加したくてもできない人の意見をどうテーブルに載せるか。そこを改善する営みが、「対話」だと思います。

意見の異なる議員との関係については、どう考えていますか?

内田 議会は、異なる民意を持ち寄って議論する場。区長だけに背負わせず、議員同士が対話を通じて議会運営を支える努力が必要です。杉並は新しい考えを持つ区議が増えたので、期待しています。それだけに来年の統一地方選挙は重要な局面になります。頑張りますよ。

SNS広告を使わない
デジタル民主主義とは?!

岸本陣営は、YouTube広告を一切使わない方針を明確にしました。その真意を教えてください。

内田 SNS広告は資金力のある陣営ほど有利になるといわれています。民間プラットフォームのアルゴリズムが人の判断や選挙結果に影響する土俵へ乗ることは疑問です。そこで「広告を使わない」ことを明確にし、対面の対話や市民一人ひとりの発信に注力しました。ただし、デジタル自体を否定しているわけではありません。普段は政治の場に来ない人が意見を届け、その声を政策に反映する「すぎなみブロードリスニング」は、そのための実験でもあります。

目の前の課題解決だけでなく
10年後、20年後を描く「杉並モデル」へ

2期目に目指す地域像は、どのようなものになりますか?

内田 目の前の困りごとへの対策は大切ですが、それだけを繰り返していると地域の将来への議論が抜け落ちます。10年後、20年後を考える際には、いまの有権者だけでなく、選挙権を持たない子どもたちや、外国籍住民などの声も必要です。短期的な課題への対応と、将来像から現在を考えることを両輪にしたい。そんな「杉並モデル」を描いています。また、市民が主役の自治しがらみに依存しない政治、対話による意思決定は他の自治体からも共感を呼んでいます。杉並での成功や失敗を各地と共有し、地域ごとの実践が横につながって、やがて国政を動かす力にすることが目指しています。

インタビュー
ブランシャール 明日香

東京都杉並区議・緑の党運営委員
長崎県生まれ。カナダ・ヨーク大学
社会人類学部を卒業し、多文化
都市トロントで生活した後帰国。
3.11に際しては震災復興支援
のため、石巻や福島でボランティア
活動。2019年からは西荻
窪善福寺にエコロジー・カフェ・
カワセミビレットを開店。カフェ
を軸に環境キャンペーン「西荻
大作戦」スタート(2025年3
月末閉店)。2022年より緑の
党グリーンズジャパンに参加し、
2023年の杉並区議会議員選
挙で「ゼロカーボンまちづくり
のど真ん中」を掲げて初当選。

グローバル・
グリーンズ憲章



緑の党 グリーンズジャパン
https://greens.gr.jp
地球ひとつで生きる



緑の党をあなたの希望の選択肢に！



詳細は特設サイトをご覧ください

2027 年統一自治体選挙キャンペーン！

現職 & 新人の

緑の候補者大募集！

2027 年統一自治体選挙に
緑の党の「公認」「推薦」で立候補しよう。

- ＊第一次リスト申請締切は 10 月末
- ＊「若者&女性のための支援金制度」活用を
(供託金貸付、最高 20 万円支援金など)

詳細>



<キャンペーンイベント> トークセッション

地域から政治を変え、社会を変えよう
“ 平和・暮らし・気候 ” 3つの不安と希望の選択肢

日時：11/21 (土)
18:00-20:00

場所：東京都内会場
& オンライン



川崎哲さん
核兵器廃絶国際キャンペーン (ICAN) 国際運営委員



瀬戸大作さん
反貧困ネットワーク事務局長



プランシャール明日香さん
緑の党運営委員
東京都杉並区議

【報告】スタートイベント

5 月に開催したパネルディスカッションでは、社会運動の現場で地域と世代を超えて取組む深草亜悠美さん (FoE Japan 事務局長)、能條桃子さん (FIFTYS PROJECT 代表)、杉原浩司さん (NAJAT 代表)、山本ようすけ立川市議のトークに、未来を拓く希望を感じることができました。

動画>



■ YouTube 新シリーズ 異彩を放つ多様な自治体議員インタビュー好評です。



みどりチャンネル



■ 「私が社会を変える！」選挙スクール

7-8 月の本スクール終了後もご要望に応じて開催。
お気軽にご相談ください。

■自治体政策集&重要争点

11 月公開に向けて、自治体政策集と統一選の重要争点と政策の検討作業が進行中。

<オピニオン> ネイチャーポジティブとともに公正な移行を！

台湾に学ぶ洋上風力発電のあり方

私は 5 年ほど前から、山形県遊佐町沖わずか 2km に計画中の巨大洋上風力発電 (15MW×30 基) の建設問題に取り組んできた。騒音による健康被害や生態系への影響を軽視する姿勢に対し、「週刊金曜日」2025 年 2 月 15 日号や「日本の科学者」2025 年 11 月号で警鐘を鳴らしてきた。

そんな中、洋上風力 500 基超を擁する台湾で、最新の 14MW 級風車が 40km 沖合に建設されていると知り、これを現状打破の突破口と確信。騒音研究の田鎖順太准教授 (横浜市立大)、浦達也氏 (日本野鳥の会)、鄭方婷博士 (JETRO アジア経済研究所) らと調査団を結成し、助成を得て 7 月 7～12 日に台湾を訪問した。

現地調査と日台シンポジウム

現地では経済部・環境部との協議、彰化沖 40km の 14MW 風車の船上視察、雲林の漁業者への聞き取りを実施。7 月 9 日には、日台の専門家や NGO が集うシンポジウム「JUST TRANSITION With Nature Positive」を鹿港で開催した。田鎖先生、浦先生、私の講演に続き、Robin Winkler 氏、台湾シロイルカ研究者の John Wang 博士、彰化県環境保護連盟の施月英氏らが登壇し、充実した議論となった。

台湾が示す「環境と共生する開発」

台湾では、開発前に NGO や市民も参加する公

開のゾーニング議論が行われ、その結果、沿岸 3 海里での開発禁止や、水中騒音 160dB 上限などの基準が設けられている。初期の苗栗沖 (離岸 2km) の実証実験で抗議運動が起きたことを受け、「開発不可海域 (Red Zones)」も設定され、現在は 40km 沖での開発が進む。

一方、8km 沖の雲林では「漁場が失われた」「20km 離れた民家でも杭打ち騒音が聞こえた」との声があり、近接した陸上風車ではコウノトリのバードストライクや油漏れによるハマグリ養殖場への被害も確認した。

日本海の自然を未来へつなぐために

台湾で 40km 沖に建設している巨大風車を、遊佐沖のように沿岸 2km へ建設すれば、住民紛争や ECOCIDE (生態系破壊) は避けられない。台湾の経験を踏まえ、日本でも浮体式を含め 20km 以遠への転換と、ネイチャーポジティブな公正な移行を求めて活動している。

シンポジウムでは台湾緑の党の大学教授とも意見交換を行った。また、この問題については Global Greens 生物多様性 WG から日本政府への申し入れも予定されている。スナメリやネズミイルカが暮らす日本海を、未来へ引き継いでいこう。



草島進一
(運営委員・
山形県鶴岡市議)

ピーファス PFAS プロジェクト始動！

がんや流産のリスクを高める有機フッ素化合物 — PFAS は、スマホや



5/29、政府に申入れ

フライパンなど身近なものに使われてきました。今年 4 月、政府は水道水の水質基準に、PFOS と PFOA の合計 50ng (ナノグラム) /L を追加し、全国の自治体での検査が始まっています。

しかし、この基準は米国の基準 (PFOS 4ng/L 以下・PFOA 4ng/L 以下) に比べて大変ゆるく、研究者は健康被害をもたらす値だと警鐘を鳴らしています。

緑の党でもこの問題に取り組んできた丸尾牧 (兵庫県議・緑の党兵庫県本部共同代表) をリーダーとして、5 月に PFAS プロジェクトを立ち上げ、政府に対し、共同代表と共に、PFAS 対策の抜本強化を求める申入れを行いました。7 月には自分たちの自治体で水質調査がどのように公表されているかを調べる党内ワークショップを開催し、地域から声を高める運動に繋がっていきます。



松本なみほ
(運営委員・
兵庫県本部共同代表)

主な声明・論説 2026年6月～8月

- ◆ 歯止めなき「インテリジェンス」改革—国家情報会議設置法に抗議します (6/4)
- ◆ 辺野古沖転覆事故をめぐる文部科学省の「教育基本法違反」判断に抗議します (6/4)
- ◆ 原発リブレース方針に強く反対します—中東危機への唯一の対応は、再生可能エネルギーによる経済再生— (6/12)
- ◆ 皇室典範改正案について—制度改革には、広範な熟議を— (6/27)
- ◆ 国旗損壊罪創設法案に反対します—表現の自由と市民社会を守るために— (6/30)
- ◆ 二度と冤罪を引き起こさないために、再審法改正政府案に反対します (6/30)
- ◆ 戦後81年にあたって—野蛮な戦争と専制の拡大をくい止め、平和で公正な世界の構築へ— (8/15)

詳しく知る▼



世界のみどり GLOBAL GREENS

緑の党は世界 100 以上の国や地域で活動し、グローバル・グリーンズ (GG) というネットワークをつくっています。

5/8 英国地方選。イングランドの議会では改選前 176 議席が 587 議席に大躍進。ウェールズとスコットランドでも躍進。

6/3 韓国緑の党のホ・スンギュ市議が、党史上初めての公職選挙で当選。山火事の被害に遭った安東 (アンドン) 市で、炊き出しや被災者支援で信頼を勝ち取った。



6/3 デンマークで緑の党グリーン・レフトが連立政権入り。気候対策・公共サービス・安全保障を強化する、今までで「最もグリーンな政府」になった。



6/13 オランダ緑の党と労働党が合併し、新党「PRO」を結成。極右・中道右派に対抗する進歩派勢力の結集をめざす。



6/25 欧州を襲う記録的熱波を受け、欧州緑の党は、EU に気候対策「グリーン・ディール」の強化を要求。

7/14 リトアニアに 3 人の緑の大臣が誕生。保健相、エネルギー相、農相の活躍が期待される。

詳しく知る▼



自治体選挙

5/31	新潟知事選	土田竜吾	新	非	支持	残念
6/21	東京都立川市議選	山本ようすけ	現	会	公認	当選
6/28	東京都杉並区長選	岸本さとこ	現	非	支援	当選
7/5	東京都調布市長選	木下やすこ	新	非	支援	残念
10/25	千葉県匝瑳市議選	内山隼人	現	サ	支持	
11/15	千葉県松戸市議選	増田かおる	現	サ	推薦	

新:新人 現:現職 / 会:会員 サ:サポーター 非:非会員

緑の党 <https://greens.gr.jp>
グリーンズジャパン E-Mail greens@greens.gr.jp

〒167-0043

東京都杉並区上荻1丁目24-12 第1浅賀ビル2A
TEL 03-5364-9010 FAX 03-3220-4516

会員・サポーター募集しています
カンパにご協力お願いします



城南信用金庫 高円寺支店 (店番号 036) 普通預金
口座番号: 340392 名称: 緑の党グリーンズジャパン

郵便口座 ゆうちょ銀行
口座番号: 00100-9-262967 名称: 緑の党
他金融機関からのお振り込みの場合 当座預金
店名: O-19 (ゼロイチキュー) 口座番号: 262967